

令和7年4月16日
交通総務課

令和7年春の全国交通安全運動期間中の交通事故発生状況について

東京都内

○ 発生件数（概数）

725件（前年安全運動期間比 - 6件）

○ 死者数

5人（前年安全運動期間比 + 3人）

○ 負傷者数（概数）

816人（前年安全運動期間比 + 27人）

※ 都内の交通安全運動期間中における交通人身事故は、前年の安全運動期間中と比べて死者数は増加し、発生件数と負傷者数は概ね横ばいでした。

- 令和7年「春の全国交通安全運動」は4月6日（日）から同月15日（火）までの10日間、

「こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践」

「歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進」

「自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底」

「二輪車の交通事故防止」

を重点として、推進しました。

- 交通安全運動期間中の交通事故死者数

- ・ 状態別では四輪車乗車中が2人、自転車乗用中が2人、歩行中が1人でした。
- ・ 年齢層別では、30代が2人、50代が2人、高齢者が1人でした。

昨日現在の本年累計死者数は41人で、前年同期と同数です。歩行者の割合が半数以上を占めており、その中でも横断中の事故が多く発生しています。